

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	グローバル選抜探究	国語	国語1・国語2	4（うち書写1）
教科書・教材				
『国語1』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、『くりかえし漢字1』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書				

授業のねらい（年間指導目標）	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。基礎教養の習得として、反復的な漢字学習を行い、デキタスを使用し読解の基本も学ぶ。更に、課題解決的な学習を行い、各自が研究し、思索を深めた学習内容を様々な手段で発表する機会を持てるようにする。書写の観点では、字形を整え、文字の大きさ・配列などについて理解し、楷書で書く力を養い、更に楷書より早く書くことができる行書の基本的な書き方を学習する。EdTech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>国語1 詩：音読になれ、作品の描く世界に思索を深める。小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化を読み取る。説明文：段落の役割や比較表現に注意して読み、筆者の主張を読み取る。国語2 口語文法：言葉の単位、文節の働き、デキタス4・5・6 模試演習問題 書写：楷書「氏名」「基本点画」</p> <p>国語1 説明文：段落の役割に注意して読み、筆者の主張と事例の関係を読み取る。読書を楽しみ、本の探し方を考える。国語2 口語文法：文の組み立て、デキタス1・9 模試演習問題 書写：楷書「天」「地」、二字書き「天地」、暑中見舞いの書式、和綴じ作品集作り</p>
2学期	<p>国語1 詩：詩の言葉を読み味わい、語感を磨き、情景を想像して読み取る。説明文：段落の役割や比喻表現に注意して読み、筆者の主張を正確に読み取る。小説：登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。国語2 口語文法：単語の種類、デキタス2・8・10、模試演習問題 書写：行書「氏名」行書「基本点画」行書「大木」</p> <p>国語1 小説：登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。説明文：筆者の主張と根拠の関係をつかみ、読み取る。古典：古典学習の基本について学び、歴史的背景にも考えを深める。国語2 口語文法：主語になる単語、デキタス3、模試演習問題 書写：行書「栄光」、「平和」、書初</p>
3学期	<p>国語1 文学的な文章と説明的な文章を読むための中学1年生学習事項を復習する。</p> <p>国語2 口語文法：述語になる単語、デキタス7、模試演習問題 書写：『硬筆練習帳』</p>
評価方法	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。	
備考	
随時漢字検定対策も行う。月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。	

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	未来探究	国語	国語	4（うち書写1）
教科書・教材				
『国語1』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、 『くりかえし漢字1』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、 『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書				

授業のねらい（年間指導目標）	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。基礎教養の習得として、反復的な漢字学習を行い、デキタスを使用し読解の基本も学ぶ。更に、課題解決的な学習を行い、各自が研究し、思索を深めた学習内容を様々な手段で発表する機会を持てるようにする。書写の観点では、字形を整え、文字の大きさ・配列などについて理解し、楷書で書く力を養い、更に楷書より早く書くことができる行書の基本的な書き方を学習する。EdTech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>国語1 詩：音読になれ、作品の描く世界に思索を深める。小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化を読み取る。説明文：段落の役割や比較表現に注意して読み、筆者の主張を読み取る。 国語2 口語文法：言葉の単位、文節の働き、デキタス4・5・6 模試演習問題 書写：楷書「氏名」「基本点画」</p> <p>国語1 説明文：段落の役割に注意して読み、筆者の主張と事例の関係を読み取る。読書を楽しみ、本の探し方を考える。 国語2 口語文法：文の組み立て、デキタス1・9 模試演習問題 書写：楷書「天」「地」、二字書き「天地」、暑中見舞いの書式、和綴じ作品集作り</p>
2学期	<p>国語1 詩：詩の言葉を読み味わい、語感を磨き、情景を想像して読み取る。説明文：段落の役割や比喻表現に注意して読み、筆者の主張を正確に読み取る。小説：登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。 国語2 口語文法：単語の種類、デキタス2・8・10、模試演習問題 書写：行書「氏名」行書「基本点画」行書「大木」</p> <p>国語1 小説：登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。説明文：筆者の主張と根拠の関係をつかみ、読み取る。古典：古典学習の基本について学び、歴史的背景にも考えを深める。 国語2 口語文法：主語になる単語、デキタス3、模試演習問題 書写：行書「栄光」、「平和」、書初</p>
3学期	<p>国語1 文学的な文章と説明的な文章を読むための中学1年生学習事項を復習する。 国語2 口語文法：述語になる単語、デキタス7、模試演習問題 書写：『硬筆練習帳』</p>
評価方法	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。	
備考 随時漢字検定対策も行う。月に1時間をサマライズタイムに当てる。随時漢字検定対策も行う。月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。	

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	グローバル選抜探究	国語	国語	4
教科書・教材				
『国語2』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、 『くりかえし漢字2』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、 『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書				

授業のねらい（年間指導目標）	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。基礎教養の習得として、反復的な漢字学習を行い、デキタスを使用し読解の基本も学ぶ。また、課題解決的な学習を行い、各自が研究し、思索を深めた学習内容を様々な手段で発表する機会を持てるようにする。EdTech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の考え方を読み取る。 古文：作者のものの見方や感じ方に触れ、読み味わう。デキタス4・5 説明文：文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読み、理解を深める。 読書を楽しみ、本の探し方を考える。言語活動：1年次の文法復習 書写：『硬筆練習帳』 デキタス9・10
2学期	短歌：語感を磨き、知識や経験を結びつけて読みを深める。 随筆：さまざまな考え方を学び、知識や経験を結びつけて読みを深める。 小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の人柄や心情を読み取る。 デキタス6・7 随筆：筆者の思いを捉える随筆の味わい方を知り、日常の読書に活かす。 説明文：適切な根拠な在り方について理解し、文章の構成や論理の展開を吟味する。 古典：古典学習の基本について学び、登場人物・筆者の心情にも思いを深める。 書写：書初指導 言語活動：修飾語・接続語・独立語 デキタス1・2
3学期	文学的な文章と説明的な文章、古典を読むための中学2年生学習事項を復習する。 書写：『硬筆練習帳』 言語活動：付属語になる単語 デキタス3・8
評価方法	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。	

備考
随時漢字検定対策も行う。月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	未来探究	国語	国語	4
教科書・教材				
『国語2』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、 『くりかえし漢字2』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、 『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書				

授業のねらい（年間指導目標）	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。基礎教養の習得として、反復的な漢字学習を行い、デキタスを使用し読解の基本も学ぶ。また、課題解決的な学習を行い、各自が研究し、思索を深めた学習内容を様々な手段で発表する機会を持てるようにする。EdTech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の考え方を読み取る。 古文：作者のものの見方や感じ方に触れ、読み味わう。デキタス4・5 説明文：文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読み、理解を深める。 読書を楽しみ、本の探し方を考える。言語活動：1年次の文法復習 書写：『硬筆練習帳』 デキタス9・10
2学期	短歌：語感を磨き、知識や経験を結びつけて読みを深める。 随筆：さまざまな考え方を学び、知識や経験を結びつけて読みを深める。 小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の人柄や心情を読み取る。 デキタス6・7 随筆：筆者の思いを捉える随筆の味わい方を知り、日常の読書に活かす。 説明文：適切な根拠な在り方について理解し、文章の構成や論理の展開を吟味する。 古典：古典学習の基本について学び、登場人物・筆者の心情にも思いを深める。 書写：書初指導 言語活動：修飾語・接続語・独立語 デキタス1・2
3学期	文学的な文章と説明的な文章、古典を読むための中学2年生学習事項を復習する。 書写：『硬筆練習帳』 言語活動：付属語になる単語 デキタス3・8
評価方法	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。	

備考
随時漢字検定対策も行う。月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学3年	未来探究	国語	国語	4
教科書・教材				
『国語3』光村図書、『中学書写』教育出版、『硬筆練習帳』教育出版、 『くりかえし漢字3』秀学社、『国語便覧』浜島書店、『まんがで理解 楽しい文法』とうほう、 『3年間の国語ぎゅぎゅっと総まとめ』明治図書				

授業のねらい（年間指導目標）	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。小テストや授業中に反復的な学習を行い、語彙力と文法力等の基礎的な力を養う。読解力だけではなく、聞く力や話す力を継続的に高めることができるよう、話し合いや発表の機会を多く設ける。難しい文章にチャレンジし、応用力の養成を行う。EdTech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>小説：作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。 論説：具体と抽象の関係を捉え、文章の構成や論理の展開を評価する。 漢文：長く受け継がれてきた名言に触れ、人間の生き方について自分たちと関連付けて考える。問題演習 デキタス1・4・11・15</p> <p>俳句：特徴について理解を深め、内容や表現のしかたに着目して、読み深める。 読書を楽しむと同時に、本の探し方を考える。言語活動・文法・問題演習 書写：『硬筆練習帳』 デキタス2・3・5・14</p>
2学期	<p>小説：作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 論説：情報の信頼性を確かめながら読み、これからの社会の在り方について自分の意見を持つ。問題演習 デキタス7・8・10</p> <p>古文：詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌や俳句の世界に親しむ。作者の心情や描かれた情景を読み取り、表現の効果などについて考える。 論説：抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読み、筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。 問題演習 書写：書初指導 デキタス9・11・12・13</p>
3学期	文学的な文章と説明的な文章を読むための基本的な観点を復習し、中学の総仕上げを行う。問題演習 書写：『硬筆練習帳』 デキタス6・17・18
評価方法	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、書写作品、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。	

備考
随時漢字検定対策も行う。月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	グローバル選抜探究	国語	現代の国語	2
教科書・教材				
『高等学校 現代の国語』数研出版、『高等学校 現代の国語 準拠ワーク』数研出版 『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。様々な分野の評論文を通して知識や論理的に文章を読む力を身につけ、筆者の主張や主題等について、自分の考えや課題を持つ。資料を扱ったり表現を工夫したりして書くこと、説明をしたり意見を発表したり情報を聞き取り話し合いをすることを通して、話すこと・聞くことの力を身につける。これらの学習を通して、多角的なものの見方や考え方を知り、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	対比の構造：対比によって物事をとらえやすく示す。 情報の聞き取り方 一般論と主張：一般的に常識とされている事柄に対して、筆者がどのような主張をしているかを読み取る。 説得力のある話し方
2学期	実用の文章（図と文章）：コミュニケーションの手段を考える。 論理とレトリック：具体例を読み解き、「レトリック」の意義を理解する。 具体と抽象：具体と抽象の対応をとらえながら読む。 視野を広げる：自己を知るために、他者との関係性に目を向ける。 論証する
3学期	思考を深める－関連づけて読む：近代と時間の関係を意識しながら文章を読む。 課題を発見し解決策を発表する（SDGs 解説文）：SDGs の解説文を読み、社会にある課題を見つけ、情報を収集して解決策を検討する。 プレゼンテーション
評価方法	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。	

備考
月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選抜	国語	現代の国語	2
教科書・教材				
『高等学校 現代の国語』数研出版、『高等学校 現代の国語 準拠ワーク』数研出版 『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。様々な分野の評論文を通して知識や論理的に文章を読む力を身につけ、筆者の主張や主題等について、自分の考えや課題を持つ。資料を扱ったり表現を工夫したりして書くこと、説明をしたり意見を発表したり情報を聞き取り話し合いをすることを通して、話すこと・聞くことの力を身につける。これらの学習を通して、多角的なものの見方や考え方を知り、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	対比の構造：対比によって物事をとらえやすく示す。 情報の聞き取り方 一般論と主張：一般的に常識とされている事柄に対して、筆者がどのような主張をしているかを読み取る。 説得力のある話し方
2学期	実用の文章（図と文章）：コミュニケーションの手段を考える。 論理とレトリック：具体例を読み解き、「レトリック」の意義を理解する。 具体と抽象：具体と抽象の対応をとらえながら読む。 視野を広げる：自己を知るために、他者との関係性に目を向ける。 論証する
3学期	思考を深める－関連づけて読む：近代と時間の関係を意識しながら文章を読む。 課題を発見し解決策を発表する（SDGs 解説文）：SDGs の解説文を読み、社会にある課題を見つけ、情報を収集して解決策を検討する。 プレゼンテーション
評価方法	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。	

備考
月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校 1 年	未来探究	国語	現代の国語	2
教科書・教材				
『新編現代の国語』数研出版、『新編現代の国語 準拠ワーク』数研出版 『キーワード漢字 2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。様々な分野の評論文を通して知識や論理的に文章を読む力を身につけ、筆者の主張や主題等について、自分の考えや課題を持つ。資料を扱ったり表現を工夫したりして書くこと、説明をしたり意見を発表したり情報を聞き取り話し合いをすることを通して、話すこと・聞くことの力を身につける。これらの学習を通して、多角的なものの見方や考え方を知り、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。Edtech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>対比を読み取る：日本と西洋の感じ方の違いが表れているものを取り上げて考察する。 対比を読み取る：人間と自然のあり方をめぐる筆者の問題意識を把握する。</p> <p>文章の展開を把握する：論の展開を整理して、本文の要点をつかむ。 コミュニケーションと言葉：日常的な言葉のやりとりに着目し、その背景にある知識や話し手の含意を読み取る。 適切に話す・聞く（スピーチ）</p>
2 学期	<p>言葉の働きをとらえる：日本語の語彙がたどってきた変化を知り、現代日本語の特性を理解する。 言葉の働きをとらえる：具体例を読み解き、「レトリック」の意義を理解する。 書き手の考えを比較する：筆者の意見に対して自分はどのように考えるか、根拠を示しながら論理的に述べる。 根拠を読み取る：本文の結論を踏まえて、「差」が持つ意味を考察する。</p>
3 学期	<p>文章構造を理解する：文章の一貫性を高めるための工夫を理解する。 課題を発見し解決策を発表する（SDGs 解説文）：SDGs の解説文を読み、社会にある課題を見つけ、情報を収集して解決策を検討する。 要約する 発表の方法（プレゼンテーション）</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A 問題（30 点）：漢字・語彙等の知識問題、B 問題（50 点）：思考力・判断力を測る問題、C 問題（20 点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	

備 考
月に 1 時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	グローバル選抜探究	国語	言語文化	2
教科書・教材				
『高等学校 言語文化』数研出版、『高等学校 言語文化 準拠ワーク』数研出版 『古文単語315』 桐原書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解し、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。EdTech教材を活用し、個別最適化学習を行う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>古文：説話集 小説の素材となった古文を学習し、小説との違いを比較する。 現代文学：小説 古文を素材とした小説を学習し、古文との違いを比較する。</p> <p>古文：説話集、作り物語 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。 漢文：漢文入門 漢文を読むための基礎基本を入門編として学習する。 現代文学：小説 特殊な素材を扱った小説を学習し、テーマと人物像を学習する。</p>
2 学期	<p>古文：随筆、歌物語 中世の世界観を学習するとともに、平安時代の生活を学習する。 漢文：故事と成語 日本語へと入り込んだ故事成語の原点を学習する。 現代文学：小説 中国の小説を典拠とした小説を学習し、その影響を受けた思想や人物像などを学習する。</p> <p>古文：随筆、日記 宮廷文学を学習し、時代背景や当時の人々の世界観を学習する。 漢文：歴史書（十八史略） 歴史書を読み、人物像やその当時の価値観を学習する。 現代文学：小説 現代作家の作品を読み、人物の心情の変化などを学習する。</p>
3 学期	<p>古文：軍記物語、旅日記 戦争を扱った古文を学習し、世界観や人物像を学習する。 漢文：漢詩 漢詩を鑑賞し、漢詩の基本と人間のものの見方、感じ方を学習する。 現代文学：小説 戦争を扱った小説を学習し、世界観や人物像を学習する。</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	
備考	

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選抜	国語	言語文化	2
教科書・教材				
『高等学校 言語文化』数研出版、『高等学校 言語文化 準拠ワーク』数研出版 『古文単語315』 桐原書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解し、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。EdTech教材を活用し、個別最適化学習を行う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>古文：説話集 小説の素材となった古文を学習し、小説との違いを比較する。 現代文学：小説 古文を素材とした小説を学習し、古文との違いを比較する。</p> <p>古文：説話集、作り物語 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。 漢文：漢文入門 漢文を読むための基礎基本を入門編として学習する。 現代文学：小説 特殊な素材を扱った小説を学習し、テーマと人物像を学習する。</p>
2 学期	<p>古文：随筆、歌物語 中世の世界観を学習するとともに、平安時代の生活を学習する。 漢文：故事と成語 日本語へと入り込んだ故事成語の原点を学習する。 現代文学：小説 中国の小説を典拠とした小説を学習し、その影響を受けた思想や人物像などを学習する。</p> <p>古文：随筆、日記 宮廷文学を学習し、時代背景や当時の人々の世界観を学習する。 漢文：歴史書（十八史略） 歴史書を読み、人物像やその当時の価値観を学習する。 現代文学：小説 現代作家の作品を読み、人物の心情の変化などを学習する。</p>
3 学期	<p>古文：軍記物語、旅日記 戦争を扱った古文を学習し、世界観や人物像を学習する。 漢文：漢詩 漢詩を鑑賞し、漢詩の基本と人間のものの見方、感じ方を学習する。 現代文学：小説 戦争を扱った小説を学習し、世界観や人物像を学習する。</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	
備 考	

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	未来探究	国語	言語文化	2
教科書・教材				
『新編言語文化』数研出版、『新編言語文化 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解し、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。EdTech教材を活用し、個別最適化学習を行う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>古文：説話集 小説の素材となった古文を学習し、小説との違いを比較する。 現代文学：小説 古文を素材とした小説を学習し、古文との違いを比較する。</p> <p>古文：説話集 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。 漢文：訓読の基本 漢文を読むための基礎基本を学習する。 現代文学：小説 「ことば」に関する小説を学習し、テーマと人物像を学習する。 漢字検定対策</p>
2学期	<p>古文：説話集 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。 現代文学：小説 「ことば」に関する小説を学習し、テーマと人物像を学習する。</p> <p>古文：説話集 古文の基礎基本を、説話集を使って、学習する。 漢文：故事と成語 日本語へと入り込んだ故事成語の原点を学習する。 現代文学：詩歌、小説 詩歌と現代作家の小説作品を読み、詩歌ではその作品の鑑賞を行い、小説では、人物の心情の変化などを学習する。 漢字検定対策</p>
3学期	<p>古文：歌物語 宮廷文学を学習し、時代背景や当時の人々の世界観を学習する。 漢文：故事と成語 日本語へと入り込んだ故事成語の原点を学習する。 現代文学：小説 著名な作家の作品を読み、テーマと人物像を学習する。 漢字検定対策</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	

備考

シラバス〔芸術〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選択	芸術	書道 I	2
教科書・教材				
『書 I』 教育図書 『楷書の手ほどき』教育図書				

授業のねらい（年間指導目標）	
書道の幅広い活動を通し、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	「楷書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、中国古典の名筆から用筆・運筆の技能を身に付ける。 「創作」学んだ用筆・運筆の技能を活かし表現力を身に付ける。 「団扇」「短冊」日常生活と書の文化との関わりを通して心豊かな創造力を身に付ける。
2 学期	「行書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、中国と日本の古典の名筆から用筆・運筆技能を身に付ける。 「創作」学んだ用筆・運筆技能を活かし表現力を身に付ける。 「年賀状」日常生活と書の文化との関わりを通して心豊かな創造力を身に付ける。
3 学期	「仮名」書道史から漢字と仮名の関係と日本独自の仮名の成立を理解し、日本の古典の名筆から用筆・運筆の技能を身に付ける。 「仮名漢字交じり」「カレンダー」者の用筆・運筆の技能を活かし、表現力を身に付ける。
評価方法	
「古典臨書作品」「創作作品」授業時の「書」に取り組む意欲と姿勢により評価する。作品70%、平常点30%。	

備 考

シラバス（国語科）

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	グローバル選抜探究	国語	論理国語	2
教科書・教材				
『精選論理国語』数研出版、『精選論理国語準拠ノート』数研出版 『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>「学ぶということ」「具体と抽象」について筆者の主張を的確に捉えるとともに、筆者の着眼のおもしろさについて自分の意見をまとめる。 思想・芸術・社会・言語等に関する作品を取り上げる予定である。</p> <p>「言葉」「近代と現代の視点」について根拠を確かめながら筆者の主張を捉える。 言語・経済・情報等に関する作品を取り上げる予定である。</p>
2学期	<p>「近代と現代の視点」「情報と社会」について、内容・構成・表現を比較するとともに、自分自身の意見を文章にまとめる。 情報・科学・思想等に関する作品を取り上げる予定である。</p> <p>「情報と社会」「思考の枠組み」について、内容・構成・表現を比較するとともに、自分自身の意見を文章にまとめる。 社会・情報・思想等に関する作品を取り上げる予定である。</p>
3学期	<p>「思考の枠組み」「考えの表出」について、自己の価値観と照らし合わせて考える。複数の資料をもとに自分の意見をまとめ、論じる。 思想・環境等に関する作品を取り上げる予定である。</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	

備考
月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。

シラバス（国語科）

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選抜	国語	論理国語	3
教科書・教材				
『精選論理国語』数研出版、『精選論理国語準拠ノート』数研出版 『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>「学ぶということ」「具体と抽象」について筆者の主張を的確に捉えるとともに、筆者の着眼のおもしろさについて自分の意見をまとめる。 思想・芸術・社会・言語等に関する作品を取り上げる予定である。</p> <p>「言葉」「近代と現代の視点」について根拠を確かめながら筆者の主張を捉える。 言語・経済・情報等に関する作品を取り上げる予定である。</p>
2学期	<p>「近代と現代の視点」「情報と社会」について、内容・構成・表現を比較するとともに、自分自身の意見を文章にまとめる。 情報・科学・思想等に関する作品を取り上げる予定である。</p> <p>「情報と社会」「思考の枠組み」について、内容・構成・表現を比較するとともに、自分自身の意見を文章にまとめる。 社会・情報・思想等に関する作品を取り上げる予定である。</p>
3学期	<p>「思考の枠組み」「考えの表出」について、自己の価値観と照らし合わせて考える。複数の資料をもとに自分の意見をまとめ、論じる。 思想・環境等に関する作品を取り上げる予定である。</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	

備考
月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	未来探究	国語	論理国語	2
教科書・教材				
『論理国語』数研出版、『論理国語 準拠ワーク』数研出版 『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。Edtech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>評論読解の導入として、筆者の主張を明確に捉える。 思想・芸術・社会等の文章を取り上げる予定である。</p> <p>具体と抽象について理解し、筆者の主張を明確に捉える。言葉に関心を持つ。 社会・言語・文学等の文章を取り上げる予定である。</p>
2 学期	<p>近代化に伴って生じた問題について考える。 文学・言語・経済・科学等の文章を取り上げる予定である。</p> <p>情報化社会と日本文化について考える。 思想・社会・言語等の文章を取り上げる予定である</p>
3 学期	<p>その文章が書かれた時代背景を理解し、現代の価値観と比較する。 環境・社会等の文章を取り上げる予定である。</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A 問題（30 点）：漢字・語彙等の知識問題、B 問題（50 点）：思考力・判断力を測る問題、C 問題（20 点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	
備 考	
<p>月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。</p>	

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	グローバル選抜探究	国語	文学国語	2
教科書・教材				
『文学国語』数研出版、『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>文学史：近代における日本文学の変遷を概観する。 小説読解の導入：登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深める。</p> <p>平成の小説：題名が本文中でどのような意味で用いられているのか考える。 昭和後期の小説：表現上の構成と効果を検討する。解釈の多様性について考える。 ビブリオバトル：自分の読書体験を他者に効果的に発信する方法を探究する。</p>
2学期	<p>昭和初期の小説：寓話的な小説を読み、現代社会が抱える問題について考える。 近代の詩歌：さまざまな形式の詩歌に触れ、奥深く広がりのある情緒を味わう。</p> <p>大正の小説：人物の性格・心理描写を的確に把握し、人の心のありようについて考える。また、作者の講演録を読み、作品に対する理解を深める。</p>
3学期	<p>古典の現代語訳：同じ作品の3つの現代語訳を読み、表現上の相違を検討する。 文学評論：文学評論を読み、自分にとっての文学の意義について考える。</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	
備考	

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選抜	国語	文学国語	3
教科書・教材				
『文学国語』数研出版、『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>文学史：近代における日本文学の変遷を概観する。</p> <p>小説読解の導入：作者がどのように虚構の世界を築き上げているのかを通して、小説とは何かを考える。登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深める。</p> <p>平成の小説：題名が本文中でどのような意味で用いられているのか考える。</p> <p>昭和後期の小説：表現上の構成と効果を検討する。解釈の多様性について考える。</p> <p>ビブリオバトル：自分の読書体験を他者に効果的に発信する方法を探究する。</p>
2 学期	<p>昭和初期の小説：寓話的な小説を読み、現代社会が抱える問題について考える。</p> <p>近代の詩歌：さまざまな形式の詩歌に触れ、奥深く広がりのある情緒を味わう。</p> <p>大正の小説：人物の性格・心理描写を的確に把握し、人の心のありようについて考える。また、作者の講演録を読み、作品に対する理解を深める。</p>
3 学期	<p>古典の現代語訳：同じ作品の3つの現代語訳を読み、表現上の相違を検討する。</p> <p>文学評論：文学評論を読み、自分にとっての文学の意義について考える。</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A 問題（30 点）：漢字・語彙等の知識問題、B 問題（50 点）：思考力・判断力を測る問題、C 問題（20 点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	

備考

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	未来探究	国語	文学国語	3
教科書・教材				
『文学国語』数研出版、『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>文学史：近代における日本文学の変遷を概観する。</p> <p>小説読解の導入：登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深める。</p> <p>平成の小説：題名が本文中でどのような意味で用いられているのか考える。</p> <p>昭和後期的小説：表現上の構成と効果を検討する。解釈の多様性について考える。</p> <p>ビブリオバトル：自分の読書体験を他者に効果的に発信する方法を探究する。</p>
2学期	<p>昭和初期の小説：寓話的な小説を読み、現代社会が抱える問題について考える。</p> <p>近代の詩歌：さまざまな形式の詩歌に触れ、奥深く広がりのある情緒を味わう。</p> <p>大正の小説：人物の性格・心理描写を的確に把握し、人の心のありようについて考える。</p>
3学期	<p>古典の現代語訳：同じ作品の3つの現代語訳を読み、表現上の相違を検討する。</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	
備考	

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選択X	国語	古典探究	2
教科書・教材				
『古典探究 古文編』『古典探究 漢文編』数研出版、『古典探究準拠ノート』数研出版 『古文章語315』桐原書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。伝統的な言語文化に対する理解を深めるとともに、古典を通して、論理的に考えるものの見方や感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高める。問題演習を通して、大学入試に向けた実力を養成する。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	古文：説話・歌物語 用言・助動詞・係り結び等の文法事項を理解する。 和歌の修辞法を理解する。 漢文：故事 漢文の語順を理解する。
	古文：随筆・物語 敬語について理解する。宮廷生活や当時の習慣等についての背景知識を身につける。 漢文：史伝 句法について理解する。
2学期	古文：歴史物語・軍記物語 文法事項の確認、宮廷生活や当時の習慣等についての背景知識をさらに身につける。 諸子百家について理解する。
	古文：日記文学・物語 和歌の修辞法や常識を理解する。 漢文：漢詩 漢詩に関する知識を身につける。
3学期	古文：和歌・歌論・俳諧 漢文：文章 道家思想とその影響を受けた作人に触れる。
評価方法	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：語彙・文学史等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。	

備考

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選択X	国語	探究演習・表現	2
教科書・教材				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。話すこと・聞くことに関しては、聴衆に対してスピーチをしたり、面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりする態度を養う。書くことに関しては、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫する能力を養う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>原稿用紙の使い方・具体的に書く・内容に注意して書く 複数の立場から考える・課題作文・小論文の書き方を学ぶ</p> <p>文章の要点を把握して意見を決める・課題文型小論文を書く 資料を分析して問題点を考える</p>
2学期	<p>データ型小論文を書く・メディアを駆使する</p> <p>ショートスピーチをする・建設的な議論を行う 面接練習をする</p>
3学期	<p>自己分析・他己分析をする 自己PR文・志望理由書を書く</p>
評価方法	
<p>授業内に提出する小論文（70%）、国語の基礎知識を問う小テスト、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。定期考査は実施しない。</p>	

備考

シラバス〔芸術〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選択	芸術	書道Ⅱ	2
教科書・教材				
『書Ⅱ』教育図書 『楷書の手ほどき』教育図書 『手本蘭亭序』教育図書 『硬筆レッスン』教育図書				

授業のねらい（年間指導目標）	
書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせて、生活や社会の中の文字書、書の伝統文化と深く関わる資質・能力を育成する。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	「隸書」「篆書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、最古の漢字甲骨文や金文を現代の用具筆で表現する技能を身に付ける。 「創作」楷・行・隸・篆の四体の用筆・運筆の技能を活かし表現力を身に付ける。
2学期	「行書」「草書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、中国と日本の古典の名筆から用筆・運筆の技術を身に付ける。 「創作」学んだ用筆・運筆の技能を活かし、表現力を身に付ける。 「年賀状」日常生活と書の文化との関わりを通して、心豊かな創造力を身に付ける。
3学期	「仮名」日本の古典の名筆から、用筆・運筆の技能と、散らし書きや墨継ぎによる優美な書表現を身に付ける。 「日常書」「熨斗」の種類と用途を知り、書と日常生活の関わりを学び、学習の成果を生活に活かす力を身に付ける。
評価方法	
「古典臨書作品」「創作作品」「日常書」授業時の「書」に取り組む意欲と姿勢により評価する。 作品70%、平常点30%。	

備 考

シラバス（国語科）

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜	国語	論理国語	2
教科書・教材				
『精選論理国語』数研出版、『精選論理国語準拠ノート』数研出版 『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>筆者が依拠する前提に着目しつつ、文化について書かれた評論を読み解く。 文学・文化・思想等の文章を取り上げる予定である。</p> <p>社会の枠組みを論じた評論の読解を通して、「近代」について考える。 文化・思想・情報等の文章を取り上げる予定である。</p>
2学期	<p>情報や人工知能を論じた評論を読み、多面的な視点で議論や思考を深める。 情報・思想等の文章を取り上げる予定である。</p> <p>環境問題を論じた評論を読むとともに、仮説の設定と検証の方法について考える。 思想・環境等の文章を取り上げる予定である。</p>
3学期	<p>読み応えのある評論で筆者の思索の深化をたどるとともに、他の資料と比較する。 思想・社会・文学等の文章を取り上げる予定である。</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：漢字・語彙等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	

備考
月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	未来探究	国語	論理国語	2
教科書・教材				
『論理国語』数研出版、『論理国語 準拠ワーク』数研出版 『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。Edtech 教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>筆者が依拠する前提に着目しつつ、文化について書かれた評論を読み解く。 芸術・文化・思想等の文章を取り上げる予定である。</p> <p>社会の枠組みを論じた評論の読解を通して、「近代」について考える。 思想・社会・情報等の文章を取り上げる予定である。</p>
2 学期	<p>情報や人工知能を論じた評論を読み、多面的な視点で議論や思考を深める。 情報・思想等の文章を取り上げる予定である。</p> <p>環境問題を論じた評論を読むとともに、仮説の設定と検証の方法について考える。 環境・情報等の文章を取り上げる予定である。</p>
3 学期	<p>読み応えのある評論で筆者の思索の深化をたどるとともに、他の資料と比較する。 思想・文学等の文章を取り上げる予定である。</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A 問題（30 点）：漢字・語彙等の知識問題、B 問題（50 点）：思考力・判断力を測る問題、C 問題（20 点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	
備 考	
<p>月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。</p>	

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽科	国語	論理国語	2
教科書・教材				
『論理国語』数研出版、『論理国語 準拠ワーク』数研出版 『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。Edtech教材を予習・復習に取り入れ、個別最適化学習を行う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>筆者が依拠する前提に着目しつつ、文化について書かれた評論を読み解く。 芸術・文化・思想等の文章を取り上げる予定である。</p> <p>社会の枠組みを論じた評論の読解を通して、「近代」について考える。 思想・社会・情報等の文章を取り上げる予定である。</p>
2 学期	<p>情報や人工知能を論じた評論を読み、多面的な視点で議論や思考を深める。 情報・思想等の文章を取り上げる予定である。</p> <p>環境問題を論じた評論を読むとともに、仮説の設定と検証の方法について考える。 環境・情報等の文章を取り上げる予定である。</p>
3 学期	<p>読み応えのある評論で筆者の思索の深化をたどるとともに、他の資料と比較する。 思想・文学等の文章を取り上げる予定である。</p>
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A 問題（30 点）：漢字・語彙等の知識問題、B 問題（50 点）：思考力・判断力を測る問題、C 問題（20 点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	

備 考
月に1時間をサマライズタイムに当てる。内容は授業で取り上げた作品に関連する文章を扱う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜	国語	文学国語	2
教科書・教材				
『文学国語』数研出版、『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>平成の小説：同世代の主人公が活躍する青春小説や、国外でも人気の高い作家の小説を読み、自らの読書生活を豊かにする。</p> <p>昭和中期的小説：太平洋戦争終結後に生まれた「戦後派」の小説を読み、極限の状況下における人間のあり方を考える。</p> <p>ビブリオバトル：自分の読書体験を他者に効果的に発信する方法を探究する。</p>
2 学期	<p>大正の小説：多彩な作家が活躍した大正期の小説を読み味わい、日本の近代文学への理解を深める。</p> <p>明治の小説：文語で書かれた小説を読み解き、当時の社会状況が人物の生き方に与えた影響について考える。</p>
3 学期	戯曲や海外の小説に触れて、今後の幅広い読書体験につなげる。
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A 問題（30 点）：漢字・語彙等の知識問題、B 問題（50 点）：思考力・判断力を測る問題、C 問題（20 点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	

備 考

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	未来探究	国語	文学国語	2
教科書・教材				
『文学国語』数研出版、『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>平成の小説：同世代の主人公が活躍する青春小説や、国外でも人気の高い作家の小説を読み、自らの読書生活を豊かにする。</p> <p>昭和中期的小説：太平洋戦争終結後に生まれた「戦後派」の小説を読み、極限の状況下における人間のあり方を考える。</p> <p>ビブリオバトル：自分の読書体験を他者に効果的に発信する方法を探究する。</p>
2 学期	<p>大正の小説：多彩な作家が活躍した大正期の小説を読み味わい、日本の近代文学への理解を深める。</p> <p>明治の小説：文語で書かれた小説を読み解き、当時の社会状況が人物の生き方に与えた影響について考える。</p>
3 学期	戯曲や海外の小説に触れて、今後の幅広い読書体験につなげる。
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A 問題（30 点）：漢字・語彙等の知識問題、B 問題（50 点）：思考力・判断力を測る問題、C 問題（20 点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	

備 考

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽科	国語	文学国語	3
教科書・教材				
『文学国語』数研出版、『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>平成の小説：同世代の主人公が活躍する青春小説や、国外でも人気の高い作家の小説を読み、自らの読書生活を豊かにする。</p> <p>昭和中期的小説：太平洋戦争終結後に生まれた「戦後派」の小説を読み、極限の状況下における人間のあり方を考える。</p> <p>ビブリオバトル：自分の読書体験を他者に効果的に発信する方法を探究する。</p>
2 学期	<p>大正の小説：多彩な作家が活躍した大正期の小説を読み味わい、日本の近代文学への理解を深める。</p> <p>明治の小説：文語で書かれた小説を読み解き、当時の社会状況が人物の生き方に与えた影響について考える。</p>
3 学期	戯曲や海外の小説に触れて、今後の幅広い読書体験につなげる。
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A 問題（30 点）：漢字・語彙等の知識問題、B 問題（50 点）：思考力・判断力を測る問題、C 問題（20 点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	

備 考

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択B	国語	古典探究	2
教科書・教材				
『古文単語315』桐原書店、『共通テスト対策 古典完答22』（尚文出版）				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。共通テストで出題される古文・漢文の問題に対応できる力を養成する。基礎的な語彙や文法、句形などの知識などについてはEdTech教材を使用しながら個別学習で確認し、マスターしていく。文章を正確に読み取るだけでなく、文章の比較検討に習熟し、共通テストへの対応力を養う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>『共通テスト対策 古典完答22』 古文：第1回～第3回 漢文：第1回～第3回 随時、演習問題、大学入試過去問題を扱う。</p>
	<p>『共通テスト対策 古典完答22』 古文：第4回～第6回 漢文：4回～第6回 適宜プリント教材 随時、演習問題、大学入試過去問題を扱う。</p>
2学期	<p>『共通テスト対策 古典完答22』 古文：第7回～第9回 漢文：第7回～第9回 適宜プリント教材 随時、演習問題、大学入試過去問題を扱う。</p>
	<p>『共通テスト対策 古典完答22』 古文：第10回～第11回 漢文：第10回～第11回 適宜プリント教材 随時、演習問題、大学入試過去問題を扱う。</p>
3学期	類似対策問題演習（冬期休暇中課題）
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：語彙・文学史等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	

備考

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択D 1	国語	国語総合	2
教科書・教材				
『LT 現代文 2』 浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>国公立、難関私立大学入試レベルの現代文演習、入試問題対策を行う。限られた時間で長文を読み通す力、内容を整理してまとめる力、そして語彙力を向上させることを、常に意識しながら演習を行う。さまざまなジャンルの文章に触れることを通して、幅広い知識を得るとともに自分の考えを持ち、文章を書くことにも力を入れる。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	問題集『LT 現代文 2』（浜島書店）設問 1～7 要約練習
	問題集『LT 現代文 2』（浜島書店）設問 8～14 長文問題演習
2 学期	問題集『LT 現代文 2』（浜島書店）設問 15～21 文章比較問題演習
	問題集『LT 現代文 2』（浜島書店）設問 22～28 入試問題演習
3 学期	資料読み取り問題演習 入試問題演習
評価方法	
<p>定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A 問題（30 点）：漢字・語彙等の知識問題、B 問題（50 点）：思考力・判断力を測る問題、C 問題（20 点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。</p>	

備考

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択E	国語	探究演習 古典	3
教科書・教材				
『古典探究 古文編』『古典探究 漢文編』数研出版、『古典探究準拠ノート』数研出版 『古文単語315』桐原書店、『共通テスト対策 古典完答22』（尚文出版）				

授業のねらい（年間指導目標）	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。共通テストで出題される古文・漢文の問題に対応できる力を養成する。基礎的な語彙や文法、句形などの知識などについてはEdTech教材を使用しながら個別学習で確認し、マスターしていく。文章を正確に読み取るだけでなく、文章の比較検討に習熟し、共通テストへの対応力を養う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	古文：随筆・日記 文法事項の総復習をしながら、文学史的な知識等も身につける。 漢文：逸話 句法・用字等の文法的な内容を復習しながら、背景を身につける。
	古文：物語 文法事項の総復習をしながら、文学史的な知識等も身につける。 漢文：小説 句法・用字等の文法的な内容を復習しながら、背景を身につける。
2学期	古文：評論 古典の評論を読み、古典作品の解釈について考えを深める。 漢文：史伝 句法・用字等の文法的な内容を復習しながら、背景を身につける。
	古文：説話・近世の随筆等 文法事項の総復習をしながら、文学史的な知識等も身につける。 漢文：文章 句法・用字等の文法的な内容を復習しながら、比べ読みをする。
3学期	古文：近世の作品 幅広く古典作品に触れ、知識を深める。 漢文：漢詩 漢文に影響を受けた日本文学を読む。
評価方法	
定期考査（70%）、小テスト、課題等の提出物、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。考査問題は、A問題（30点）：語彙・文学史等の知識問題、B問題（50点）：思考力・判断力を測る問題、C問題（20点）：思考力・表現力をはかる問題という構成になる。	

備考
『共通テスト対策 古典完答22』（尚文出版）は課題として取り扱う。

シラバス〔芸術〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択	芸術	書道	2
教科書・教材				
使用せず。手書き手本と iPad 書道辞典を使用。				

授業のねらい（年間指導目標）	
書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書・書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成する。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	「写経」書道史から中国古典・日本古典の名筆から用筆・運筆の技能を身に付ける。 「創作」「色紙」「短冊」主体的な構想に基づく個性的・創造的な表現力を身に付ける。
2 学期	「楷書」「行書」「草書」漢字の書を構成する様々な要素について理解を深め、書体の特色を活かして創造的に表現する技能を身に付ける。 「創作」学んだ用筆・運筆を活かし、表現力を身に付ける。
3 学期	「年賀状」「カレンダー」日常生活と書の文化との関わりを通して心豊かな創造力を身に付ける。 「色紙」学んだ用筆・運筆を活かし、個性的・創作的な表現力で座右の銘を卒業記念の作品として創作する力を身に付ける。
評価方法	「写経作品」「創作作品」授業時の「書」に取り組む意欲と姿勢により評価する。作品70%、平常点30%。

備考